令和７年度

事業報告

社会福祉法人　シルヴァーウィング

特別養護老人ホーム　みさよはうす富久

短期入所生活介護　みさよはうす富久

Ⅰ． 施設関係

１．特別養護老人ホーム

（1）はじめに

幣施設は、令和 1 年 7 月 1 日に、新宿区富久町にオープンいたしました。それから約１年たち、漸く近隣住民の方々にも周知をれてきた状況かと考えております。

平均部屋稼働率 90.91%の入所者数でした。前年度より 1.9%ほどあがっています。退所者は 15 人です。年度末現在の利用者の平均年齢は、男性 85.5 歳、女性 89.47 歳であり、男女合計の平均年齢は 87.6 歳です。施設全体においては、特養・ショートステイの全体稼働率は 95.26%となっております。

表１　　退所者　令和７年　４月１日～令和７年　３月 31 日

退所者	15

表２　　入所者　令和７年　４月１日～令和７年　３月 31 日

男性	4 人
女性	11 人

稼働率分析

① 幣施設では 24 時間看護師を配置していることが強みであります。一方、ご利用希望の方々も医療依存度が高い方が多く、結果として入所していただいた後の状況により、療養型施設へ移られた方が複数名いらっしゃりました。また令和７年４月より看取り対応を開始いたしました。

② 空床利用

新規利用者の声かけにおいては、新宿区で入所調整したリストに沿って声かけをするシステムになっております。一方お声がけを行ったとしても、在宅での介護を希望するご家族も増えているのが現状です。その際、空床になっているお部屋に関しては、ショートステイにて利用しております。

声かけにより、断られる理由として

・他施設との併願のため、すでに他施設への入所が決まっている
・現在入所している施設(有料・老健・グループホーム等)で満足している
・まだ在宅で、介護をしていきたい

等のお声が上がりました。

（2）事業実績について

新宿区では介護事業に当たり非常に熱心な区であります。在宅サービスも非常に充実しており、特養にご希望されていたとしても、在宅での介護を続けられる方もいらっしゃります。そのような中で、施設として挙げられることは、まずは介護サービスの質の向上。次いで、魅力的な施設にしていく努力を行うこと考えます。

介護サービスの質の向上としては、

①健康管理の徹底、衛生管理の徹底、日常生活での異常に対する早期発見・早期対応の徹底。

②ハード面の充実として、インフルエンザやノロウィルスの流行に加え、年度末へと感染が拡大していった新型コロナウィルスへの予防策として、施設全体の除菌剤の配置などを強化しました。

③嘱託医による利用者の心身の定期的な健康管理として

・定期的な健康診断、予防注射の徹底による感染症対策+

・歯科医、歯科衛生士の；定期的な往診のもと、口腔内の衛生管理による誤嚥性肺炎予防、嚥下機能の維持

④ 機能訓練指導員による、個別機能訓練の実施



個別機能訓練の実施風景





ご利用者様に季節の飾りを作っていただきました

（3）サービスの内容について

本年度は引き続き、食事、入浴、排泄、接遇といった介護の基本業務をしっかりと行うことはもとより、身体拘束廃止、感染症防止、防災、安全対策、環境整備等にも力を入れて取り組みました。特に感染症防止では、新型コロナウィルスの出現により職員、利用者のマスク着用、手洗い、消毒、検温等の感染防止に注力しました。更にフロア、居室における換気に注意を払い、時間を測っての換気等を実施しました。

介護ロボットによるレクリエーション

プログラム	心身機能への効果
コミュニケーションロボット・パロ、アイボ	パロとの触れ合いにより、認知症の不安感、不穏を緩和してくれる。アイボは、様々な会話を引き出すきっかけになり、精神面の活性化が見られる



Aibo とのスキンシップ

２．短期入所生活介護

（１） はじめに

新宿区においては、お泊りデイやショートステイ専門事業所などが多数あり、激戦区であると言えます。令和 7 年度の稼働率は 139.34%となっております。幣施設の特色である、24 時間看護師体制であること、また個別機能訓練の実施をより積極的にアピールしていきたいと考えております。

一方、昨年度比較にてショートステイの稼働率に関しては、特養の稼働率が上がったため空床利用が減ったため、稼働率は低下しています。

地域の課題

・認知症独居高齢者の健康管理　　食事・入浴・服薬等
・認知症高齢者の徘徊・火の不始末等
・独居高齢者の引きこもりによる認知症の進行
・高齢者世帯における体調管理
・高齢者世帯、独居高齢者の金銭トラブル

周辺環境の情報収集・地域の課題を分析し、ニーズを抽出することが重要です。緊急ショート、医療的対応等、多様なニーズにいつでも対応できるだけの層の厚い体制づくりをし、利用者の増員を図っていきます。

（２）サービス実施状況

送迎：施設～利用者宅の送迎（ドア ツウ ドアの実現）
エレベーターのない団地等の集合住宅では、階段昇降機(介護ロボット)を活用し、歩行困難な利用者の送迎を可能としました。

介護：身体の状況に応じた食事介助・排泄介助・おむつ交換・体位交換・施設内の移動の介助。

食事：事前の面接時に確認し、身体の状況に適した食事を提供しています。

入浴：週 2 回以上。身体の状況に応じ機械浴・介助浴・一般浴にて必要な介助を行なっています。

個別機能訓練：希望される利用者には、理学療法士による個別機能訓練が受けられます。

健康管理：毎日のバイタル測定と日々の服薬管理等の健康管理・指導
胃ろう、ストーマ、インスリン、バルーンカテーテル、在宅酸素等の医療的対応。

4　各委員会・研修状況

（1）各種委員会

各種委員会は役割と人員を常に見直し

①年中行事委員会　②栄養委員会　③身体拘束廃止委員会　④排泄・褥瘡委員会
⑤ケアプラン委員会　⑥感染症対策委員会　⑦事故防止対策委員会　⑧防災対策委員会
⑨リハビリ委員会　⑩環境・口腔ケア委員会　⑪安全・衛生委員会(介護職のための)
⑫ロボット委員会
等を開催しました。平成 20 年 2 月からは、毎月 1 回の各委員会の会議を開催しています。

（2）行事

四季折々の各種行事は、3 階フロアを利用して年間を通して各種行事に取組みました。

（3）防災訓練

地域の防災訓練に参加するなど、防災への知識・技術の向上に務めました。毎月 1 回「震災・消防訓練」を実施しています。

（4）職員研修

・4 月～3 月：毎月 1 回　　早朝研修、夕方研修

表 9　　社　内　研　修

No.	名称
3-7	事故防止への取り組み
3-8	認知症高齢者への理解とケア
3-9	ノロウイルス・インフルエンザ感染症の予防と対策
3-10	身体拘束廃止等への取り組みについて
3-11	尿路感染・新型コロナウィルス等感染症防止対策について
3-12	福祉サービスにおける苦情解決について
	登録講師派遣事業 新人研修・振り返り研修
3-13	認知症を理解しましょう